

北九州市で10月に開かれる「世界体操・新体操選手権北九州大会」に向けた、市の新型コロナウイルス感染症対策検討会議の初会合が14日、市役所で開かれた。競技会場やPRイベント会場などでの感染防止対策を話し合い、大会組織委員会に提案する。検討会議は市幹部や産業医

世界体操・新体操 コロナ対策会議

科大教授、県体操協会理事長らで構成。初会合では、座長を務める梅本和秀副市長が「市内で開催されるスポーツ
北九州市が初会合
イベントとしては史上最大規模。英知を結集し、安全安心な大会にしたい」とあいさつした。